

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな 経済フラッシュ

## (3月ECB <欧州中央銀行> 理事会)

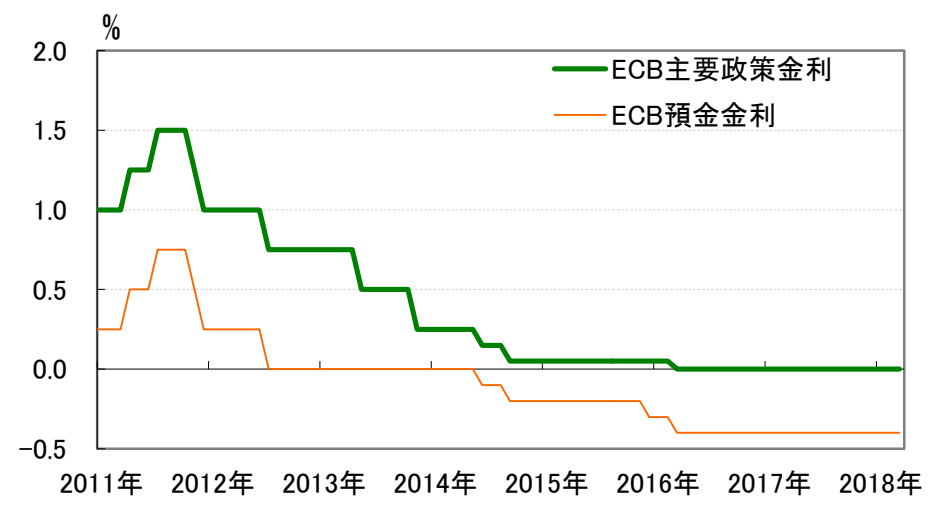
2018/3/9

りそなホールディングス 市場企画部

### 〇概況

- ◆ 政策金利据置き、フォワードガイダンスは量的緩和拡大に関する文言削除
  - ◆ 2018年の実質成長率を上昇修正、2019年のインフレ見通しを下方修正
  - ◆ 今後の焦点は量的緩和期限(9月)以降の方針
- ✓ 3月8日に開催されたECB（欧州中央銀行）理事会では、政策金利を据え置き、主要リファイナンス金利を0.00%、中銀預金金利は▲0.40%、中銀貸出金利は0.25%とした。
  - ✓ フォワードガイダンス（金融政策の方針表）については、「必要であれば資産買入れ額を増加する準備がある」と、量的緩和拡大に関する文言を削除した。
  - ✓ 景気面では、ユーロ圏の景気が、拡大しているとした。また良好な資金調達環境や企業収益を背景とした企業投資の回復、雇用増や家計資産が個人消費を下支えし、グローバルな景気回復により外需もサポートされているとした。
  - ✓ 物価面では、物価上昇圧力は依然として全体的に抑制されているが、緩和的な金融政策や景気拡大を背景に中期的には徐々に上昇していくとした。
  - ✓ ECBスタッフ見通しでは、12月時点の見通しと比べて、2018年の実質成長率が上方修正された一方、2019年のインフレ見通しは下方修正された。
  - ✓ ドラギ総裁の記者会見では、フォワードガイダンスの文言削除が注目された。文言変更について、「この文言が追加されたのは2016年であり、当時とは状況が変わった」とし、あくまで今後の政策やガイダンスに影響を与えない「バックワードルッキング（遅れた）」な変更であると述べた。またインフレについて「勝利宣言はまだできない」と述べた。
  - ✓ ガイダンスの文言削除に関しては、もはや不要なものを削除したものに過ぎない。今後の焦点は量的緩和期限(9月)以降の方針。

### 【ECB政策金利と預金金利】



### 【ECBスタッフ見通し（3月時点）】

	2018年	2019年	2020年
<b>実質GDP成長率</b>	<b>+2.4</b>	<b>+1.9</b>	<b>+1.7</b>
12月時点の見通し	+2.3	+1.9	+1.7
<b>HICP</b>	<b>+1.4</b>	<b>+1.4</b>	<b>+1.7</b>
12月時点の見通し	+1.4	+1.5	+1.7

前年比、%

【出所】ECB、Bloomberg